

2024 年度第 1 回総合事業サービスワーキンググループにおける主なご意見 (2025 年 2 月 7 日開催)

1. 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況報告

2. 総合事業ガイドラインの一部改正について

内容：総合事業の直近の実施状況等と、昨年 8 月に改正のあった国の総合事業ガイドラインの改正内容について報告を行った。

(生活支援訪問サービスについて)

- ・事業所数の減について、どのようにとらえているか。供給側へのサポートが必要ではないか。
- ・生活支援訪問サービスに、NPO 等が参入するには、ハードルが高い。一方、あんしんすこやかセンターからは、総合事業のみの提供であれば、すぐに要介護になりそうな状態像の方をサービスに繋げにくいといった声もあった。
- ・一方、従来の訪問介護事業所からすると、生活支援訪問サービスは 8 割しか報酬が入らない、それなら訪問介護を重点に受けたいという意見もある。
- ・生活支援訪問サービスの従事者は、福祉未経験の方も多く、実際に働いて、すぐに現場とのギャップを感じ早々に辞めてしまう方もいる。

→ (事務局)

- ・事業所から、担い手の確保が難しい(求人募集するが来てくれない・なかなか採用に繋がらない)といった声はある。研修修了生と事業所とのマッチングに課題があると認識しており、修了生アンケートや事業所からの意見を把握しながら今後も効果的な支援を検討していきたい。

(各サービスの利用者数について)

- ・訪問型、通所型それぞれの利用者数の実績について、推計(介護保険事業計画)と比較してフィットしているのかどうか。
- ・フレイル改善通所サービスは、どのくらいの人数を見込んでいるか。

→ (事務局)

- ・第 9 期の神戸市介護保険事業計画では、総合事業の訪問型は 10,900 (人)、通所型は 12,000 (人)を見込んでおり、ほぼ同等である。
- ・フレイル改善通所サービスの箇所数については、送迎なしのサービスであることから、身近な場所で実施するため各区 3～4 か所での実施のため公募。現在は利用者数がまだ少ないが、1 月以降利用者数が増加している会場もあり、実態を把握しながらすすめていきたい。また、サービス利用までの効果的な流れを作っていくことも重要だと認識しており、つなぎの部分改善していきたい。

3. ケアマネジメントの簡素化について

内容：神戸市の介護予防ケアマネジメントの簡素化の内容案について、報告を行った。

- ・対象となる件数が少ないのではないか。
- ・あんしんすこやかセンターの業務が多忙化する中、介護予防ケアマネジメントについて簡素化されることはいいことだと思う。
- ・(通所)事業所の書類負担軽減(簡素化)については何もないのか。

→ (事務局)

- ・フレイル改善通所サービスの実績について、今は確かに少ないが、簡素化することで利用者数(対象件数)も増加することを見込んでいる。
- ・デイレポートは廃止。それ以外の書類が簡素化できるかどうか現在調整(検討)中。